

別海町立上風連小学校 学校だより

上風連の子



No.11 平成26年1月24日(金) 発行責任者 校長 菊地 祐一

学校ブログのアドレス <http://www.aurens.or.jp/kids/>

「はい！」という自分の意志を持って

上風連小学校長 菊地 祐一

新しい年、2014年(平成26年)がスタートしました。冬休みは、年末年始やいろいろな行事が家庭・地域でもあり、あっという間に過ぎていってしまいます。今年の冬休みは子供たちにとってどのような休みになったのでしょうか。

例年になく雪の少ないお正月でした。雪が少ないことは良いような、寂しいような……。それぞれの立場の違いで感じ方も違うようです。とりわけ、学校に関しては、スケートリンクができなくて大変苦労しました。スケート運営委員会の皆様の努力で何とか完成しましたが、連日深夜2時過ぎまで水まきをするなど、できあがるまでの苦労は大変なものだったと思います。本当にありがとうございました。また、保護者の皆様には、リンク維持のための水まきにもご協力していただくこととなりますが、よろしくお願いします。このように、たくさんの方々の思いがこもったスケートリンクで、3学期子供たちはスケートをしています。感謝の気持ちを忘れずに。



さて、3学期がスタートしました。3学期は学年の「まとめ」の学期です。学力も体力も、そして心も、それぞれの学年で培ってきた力を更に発展させていく学期です。一年で一番短い3学期ですが、どんなことにも自分の意志をはっきりと表すことができる子供、「はい」をきちんと言える子供になるように取り組んでいきます。

2学期末に実施した保護者アンケートで「挨拶ができていない」という結果が出ました。挨拶については1学期から重点的に取り組んできており、1学期後半には挨拶が良くなってきていたのですが……。2学期は特に意識していなかったため、このような結果になったかと思われます。しかし、学校で意識したからできて、その後できなくなったというのは本物とはいえません。挨拶をする意味や意志がそこにはないから、できなくなってきてたのでしょうか。やはりどんなことにも自分の意志を持つことが大切です。



3学期始業式で、「はい」という返事について話をしました。「はい」と返事をするとは、自分の意志を示すことであり、相手と繋がる第一歩です。返事の仕方一つで「いい返事だね」と褒められたり、いやな思いにさせたり、自分の考えとは違う評価をされたりと、たった2文字の言葉でも言い方で相手に伝わる印象は全く異なります。楽しい学校生活の一步として自分の意志をはっきりもつことを約束しました。

そして、2ヶ月後の「卒業式」や「修了式」でどんな「はい!」を聞くことができるのか、今から楽しみです。

